

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 30 年 4 月 13 日

事務事業名		桜川改修期成同盟会参画事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	030103000361	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	060101	
政策体系	総合計画の施策名	0301 防災・消防対策の充実				主要事業		建設課		
	政策名	03 安全安心な暮らしのまちづくり				市長マニフェスト				
	施策名	01 防災・消防対策の充実				未来PJ事業		グループ 維持管理G		
	手段名	03 ③消防防災拠点の確立				合併建設計画事業				
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	08	01	01	02	00	単年度繰返し (年度~)			
法令根拠						土木総務事業		→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 桜川及びこれに流入する河川の治水事業及び災害復旧事業の促進を図り、地域住民の安全と福祉の増進に寄与することを目的とする。(桜川市・つくば市・土浦市・筑西市) 関係当局に対する要望活動。 茨城県河川協会中小河川部会に加入して各種大会研修等に参加する。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 関係当局に対する要望活動。 幹事会、総会、研修会等の連絡・調整事務 ・幹事会(1回) ・通常総会(1回) ・視察研修会(1回)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
関係当局に対する要望活動。 各種大会研修等の連絡・調整及び参加。	総会回数	回	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	負担金額	千円	150.00	150.00	150.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
関係自治体	構成団体数	団体	4.00	4.00	4.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
河川の治水事業及び災害復旧事業の促進を図る。	寄せられた河川に対する陳情・要望	件	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	期間限定総投入量
量	事業費	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	150	150	150	0
	事業費計(A)	150	150	150	0	
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	
	述べ業務時間	時間	8.00	30.00	30.00	
	人件費計(B)	千円	23	88	88	
トータルコスト(A)+(B)		千円	173	238	238	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
	金額	内容	金額	金額	内容	金額
	19 負担金補助及び交付金	150				
	合計	150				合計 150

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する  ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	桜川改修期成同盟会参画事業	事務事業No.	30103000361	所属課	建設課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 桜川及びこれに流入する河川の治水事業及び災害復旧事業の促進を図ることを目的として事業開始された。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 平成26年第1回議会においてJR水戸線~青木堰L=2.0kmの未計画区間の整備を推進する請願陳情が提出され国・県に意見書を提出した。河川上流部の体積土砂の問題が深刻であり災害を引き起こす原因になるので、土砂払いの要望が各区から提出されている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 財源確保などを目的とした県・国への働きかけにより、河川改修整備促進を図ることになり結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 整備促進に係る費用負担でありため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 整備状況の実態を切実に訴えていく要望活動が必要であるが、財政的に余裕がない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 整備促進の悪化につながる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 協議会・同盟会組織と目的事業が類似しているが、それぞれの構成が異なる。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 定額負担により運営されている組織であり削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 協議会・同盟会の参画であり受益者負担にはなじまない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 筑西土木協議会において茨城県土木部長へ桜川の河川改修促進、未計画区間の計画延伸、1級河川の堆積土砂浚渫を要望し、補正予算により堆積土砂の浚渫を実施した。今後も機会あるごとに要望活動を行い河川改修整備の促進を図りたい。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	×																			
	維持																						
	低下																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------